

2017/04/14

神代植物公園

## 植物多様性センターの「青い小さな花たちの秘密」

オオイヌノフグリのミニチュア版ともいえるフラサバソウやタチイヌノフグリは、都市公園や住宅地などでもふつうに見られる帰化植物です。早春から可憐な青い花を咲かせる虫媒花ですが、寒くて虫の少ないときにはオオイヌノフグリ同様、おしべをめしべにくっつけて、自家受粉を行います。あちこちに広がるのにはやはりちゃんと理由があるのですね。



フラサバソウ:オオイヌノフグリよりもやや日陰に生える



フラサバソウの自家受粉:  
薄紫色の3~4mmほどの花



タチイヌノフグリの自家受粉:  
濃い青色の4mmほどの花



オオイヌノフグリの自家受粉:  
古い花は赤みがさしてくる